

2-8 三浦半島における水準測量による傾斜測定 (1)

The Tilt of the Miura Peninsula Found Through Levelling (1)

建設省国土地理院 測地部
Geodetic Division,
Geographical Survey
Institute, Ministry of
Construction

1969年から国土地理院では一等水準測量による三浦半島南部(第1図)の傾斜測定を行なっている。現在までに5回分の観測データが得られた。1回の観測は10ないし20日間で第1図に示す水準路線を2ないし4往復する。大地が平面傾動運動をしているものと仮定して解析し、東大震研油壺地殻変動観測所における25m水管傾斜計から得られる傾動と比較した。

- (1) 水準測量と水管傾斜計による値には、あまり良い一致が見られない。
- (2) 最大傾斜角は水準測量による値も水管傾斜計による値もオーダーとしては同じくらいの量である。
- (3) 水管傾斜計から得られる傾動とそれに一番近い水準-鎖部の傾動には一致性が見られない。

第1表 水管傾斜計および水準測量から求めた傾動値の比較

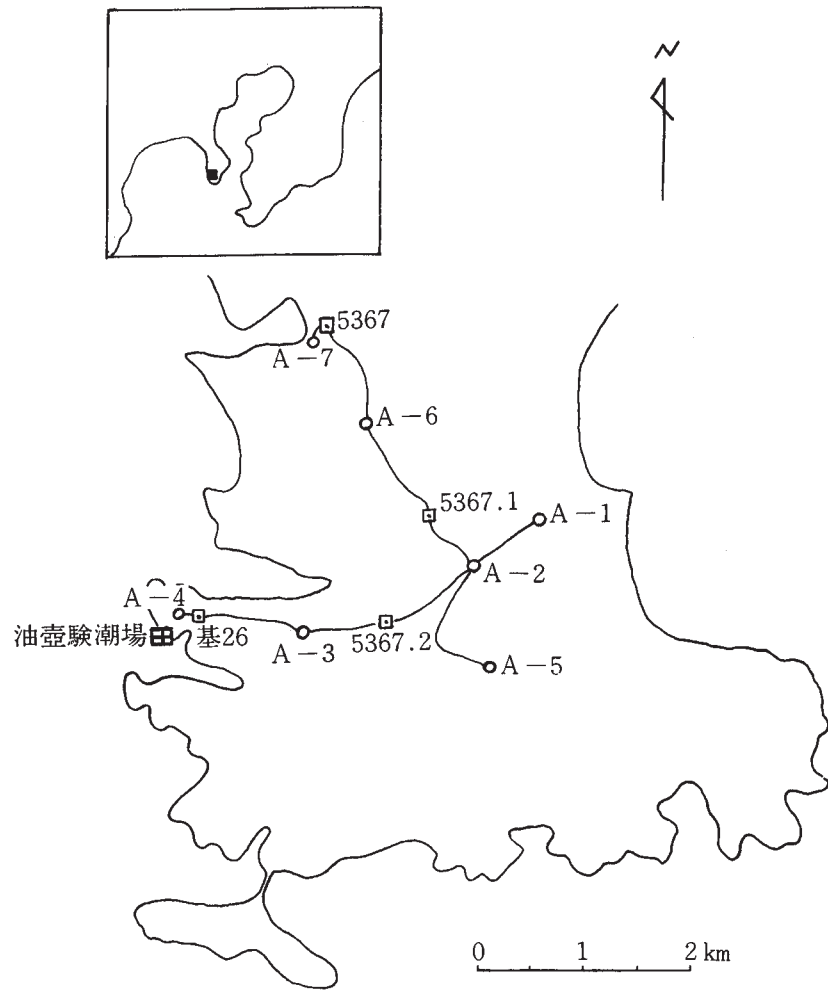
Table 1 Comparison of tilt found by means of levelling and water-tube tiltmeter

	水管傾斜計による値		水準測量による値	
	θ_1	θ_2	θ_1	θ_2
II - I	261° 26'	0". 31	214° 59'	0". 31
III - I	280° 12'	0". 44	192° 17'	0". 26
IV - I	288° 59'	0". 57	174° 41'	0". 40
V - I	267° 24'	0". 41	256° 58'	0". 23

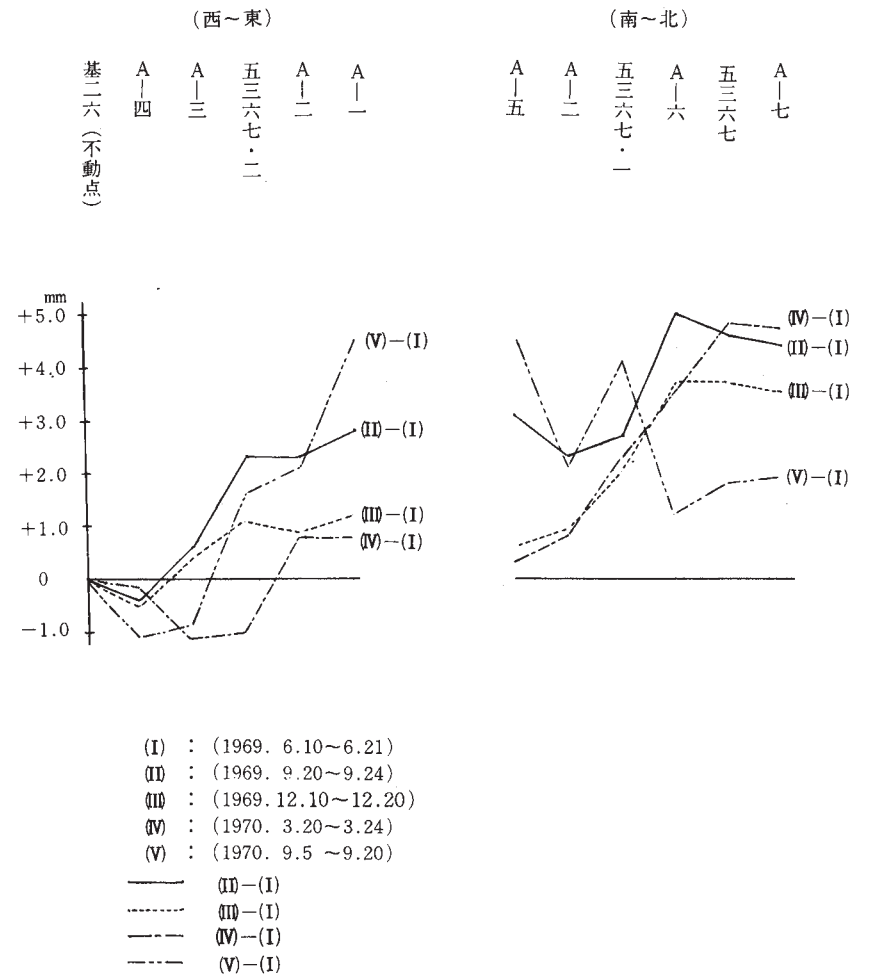
θ_1 : 最大沈下傾斜方位角 (Azimuth of the maximum tilt)

θ_2 : θ_1 方向における沈下角

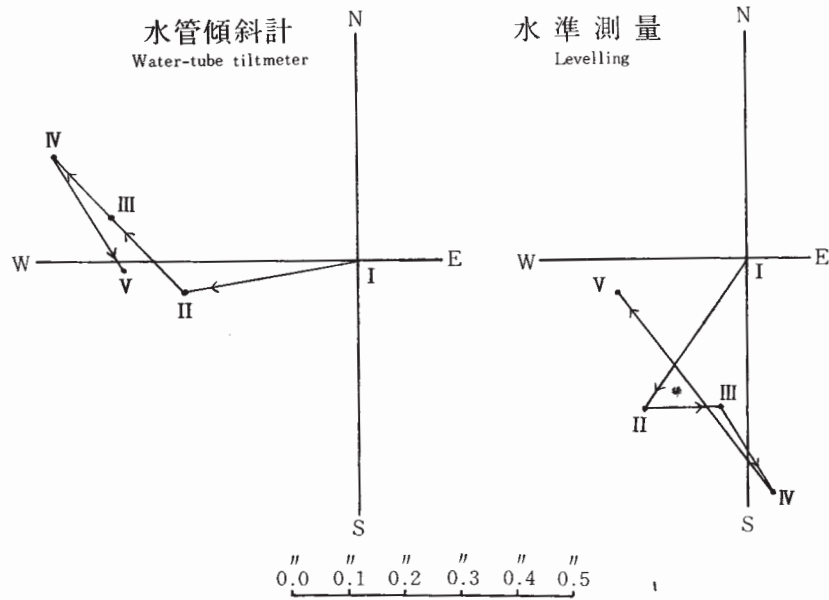
(Subsidence angle on the direction of θ_1)



第1図 水準路線図
Fig. 1 Levelling routes



第2図 東西、南北両線における傾斜変動
Fig. 2 Tilting motion of the crust along
east-west and north-south routes



第3図 傾動の推移

Fig. 3 Changes of tilt